

ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・4月号・付録
2018年4月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL(03)5379-5521/FAX(03)5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・藤田真文

理事選挙は3月27日開票 3月初旬に投票用紙発送

―2月理事会報告―

2018年2月28日、2月理事会が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版編集委員会 水島委員長

・5月号は「平成アイドルのつくられ方」。星野源のようなアイドルがなぜ流行っているのか、エム・データによる分析なども踏まえつつ斜に構えた特集を企画している。表紙は永野芽郁さん。ザ・パーソンは古沢良太さん。

・6月号はバラエティ特集。企画がほぼまとまり原稿依頼に入る。

◇選奨事業委員会

〈テレビ部門〉 出田委員長

・1月26日に月評会を開催した。1月度月間賞には、報道の日2017「激動の、日本×アメリカ×北朝鮮」今そこにある東アジアの危機! (TBS)、新春ドラマス

ペシナル「娘の結婚」(テレビ東京)、NHKスペシャル「光と影ふたりのダンサー」紅白舞台裏のドラマ(NHK)、ドラマ10「女子的生活」(NHK)の4本を選んだ。

〈ラジオ部門〉橋本委員長

・2月19日に定例会を開催し、お昼のワイド番組をテーマに「ごくじょうラジオ」(秋田放送)、「気ままにラジオ」(西日本放送)の2本を聴取し議論を交わした。

・昨年2月に理事会で提示した

「GALAC」ギャラクシー賞ラ

ジオ部門のページ改編について委員会内で議論を重ねてきた。月刊という雑誌の特性上「トピックス」のコーナーに時事的なネタを取り上げづらいこと、「PEOPLE」に取り上げる人が関東圏に

偏りがちななどという反省点から、改編後はこれらのコーナーを一つにまとめ、激励や委員のオススメ番組の紹介、提案的要素を盛り込み、委員の個性を出していくこととした。3月定例会分から実施予定。

〈CM部門〉稗田委員長

・2月22日に定例会を開催し、35本のCMを視聴した。平昌オリンピック関連CMではANA「羽生選手篇」、その他ではスタツフサイビス オー人事、日清食品 ハングリーデイズ、DR.C 医薬 花粉を水に変えるマスクなどのCMが好評だった。

〈報道活動部門〉藤久委員

・2月14日に情報交換会を開催した。

◇企画事業委員会 川喜田委員長

・3月9日に委員会を開催予定。

◇広報委員会 滝野委員長

・ジャニーズのネット解禁報道を受け、過去の「GALAC」表紙写真もアップして良いのかジャニーズ事務所に問い合わせたところ、ネットでの写真解禁は会見などでの報道・ニュース写真のみで、雑

誌はまだ未対応との回答だった。

・3月7日に委員会を開催予定。

2. 選挙管理委員会の件

・今期選挙の選挙管理委員は仲宇佐ゆりさん、服部千恵子さん、松浦正和さんの3名に委嘱。3月初旬に選挙の投票用紙を発送して、開票は3月27日とする。

3. 定款細則改定の件

・1月の理事会で、選挙結果の公表を望まない場合の例外規定の細則の追記を承認。追加する細則の文言について検討。
改定後の細則は以下となる。『』部分が追記。

(選挙結果の公表)

第4条

細則第1条に定める選挙の結果について、得票したもののすべての氏名と得票数をすみやかに会報「ほうこん」で公表する。

『ただし、公表を望まないものは、定められた期日までに選挙管理委員会に、その旨を申し出ることによって公表を辞退できる。しかし、第2条に定める理事会準備会を構成するものの氏名と得票数は公表する。』

また、総得票数の矛盾を防ぐため、「ほうこん」には「非公開得票」を記載する。公表を望まない者の氏名は理事会にも回覧しない。

次回の理事会

3月27日(火)、4月26日(木)

【出席】音好宏、橋本隆、藤田真文、藤久ミネ、川喜田尚、水島宏明、稗田政憲、出田幸彦、滝野俊一、茅原良平、五井千鶴子、小林毅、坂本衛、桜井聖子、嶋田親一、鈴木健司、鈴木嘉一、山田健太、中島好登

会議記録

〔2月〕

14日 報道活動委員会
16日 出版編集委員会
19日 (選奨) ラジオ定例会
22日 (選奨) CM定例会
26日 (選奨) テレビ月評会
28日 理事会

マイベストTV賞投票受付中!

ギャラクシー賞マイベストTV賞
2018年度2月度の投票がまもなく始まります。
皆さまの投票、コメントをお待ちしております!

投票はこちらから

<https://www.houkon.club/>



ギャラクシー賞55周年記念賞

志賀信夫賞

推薦を受付中です!

「ギャラクシー賞55周年記念賞」は、テレビ・ラジオの番組制作で大きな功績のあった作り手、出演者を顕彰対象とします。

「志賀信夫賞」は、局やプロダクションの経営、番組制作の支援、メディアの研究や批評活動など、放送の発展に貢献する大きな業績を上げた個人を表彰します。

いずれも正会員推薦を延長してお受けいたします。

3月15日(木)締切までに、ぜひ、推薦をお寄せください。